府立箕面高等学校の学科改編について

１　改編のねらい

○「大阪府教育振興基本計画（平成25年度）」において、大阪府は「社会のリーダー層やグローバル人材に必要な資質・能力の育成」を打ち出し、グローバルリーダーズハイスクールや国際関係学科の充実とともに、英語教育・理数教育の充実を掲げている。

○府立箕面高校は国際教養科設置校の中で唯一「骨太の英語力養成事業」の指定を受けており、外部の民間企業と連携した特設講座など、TOEFL-iBTを導入した英語教育を積極的に展開している。

○グローバル時代を生き抜く生徒の育成のため、府立和泉高校の成果を踏まえ、今回新たに北摂地域にある箕面高校の国際教養科を改編し、国際科（グローバル科）を設置するものである。

２　改編の内容

（１）考え方

○実践的な英語力を伸張させ、グローバル社会で活躍する能力と態度を備えた人材の育成を図る。

○実践力、思考力など、※「２１世紀型能力」を身に付け、海外大学への進学を視野に入れた幅広い進路選択を可能とする。

　※２１世紀型能力：実践力（自律的活動力、人間関係形成力）、思考力（問題解決・発見力、創造力、論理的・批判的思考力）、基礎力（言語スキル、数量スキル、情報スキル）から構成される、これからの時代に求められる力（国立教育政策研究所 平成24年度プロジェクト研究「教育課程の編成に関する基礎的研究」報告書より）

（２）学科の改編

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 改編前 |  | 改編後 |
| １・２・３年生 | １・２・３年生 |
| 学科 | 人数（学年） | 学科 | 人数（学年） |
| **国際教養科** | ８０人 |  | **国際科****（グローバル科）** | ８０人 |
|  |

（３）教育内容

　　○国社数理英の５教科を軸に、文系・理系ともに対応したカリキュラムを編成する。

○スーパーイングリッシュティーチャー（SET）を活用し、TOEFL-iBTを取り入れた英語４技能の向上をめざしたカリキュラムや教材を開発し、生徒の実践的な英語力の定着を図る。

○ディスカッションやディベートを授業に積極的に導入し論理的思考力や問題解決力を育む。

○国際科（グローバル科）において効果検証した上で、普通科においても可能な範囲で展開を図っていく。

３　今後のスケジュール

|  |  |
| --- | --- |
| 平成２６年　１２月 | 教育委員会会議（学科改編公表） |
| 　　　　〃 | 学科改編準備委員会設置 |
| 平成２８年　　３月 | 平成２８年度入学者選抜 |
| 　　　　〃 | 大阪府立高等学校等の管理運営に関する規則改正 |

５－２